

登山関連週間ニュース（2026年4月15日～4月21日）

1. 概要要約

2026年4月18日に発生した長野県北部（震度5強）の地震により、北アルプスエリアでは落石や地割れ、積雪の不安定化が深刻な課題となっています。また、春の陽気に伴うクマの活動活発化や、黄砂による視界不良、残雪期特有の気象急変など、登山活動において多角的な警戒が必要な期間です。

2. 重要ニュースまとめ

重要度	項目	内容・影響
緊急	北アルプス北部 地震影響	4月18日に大町市周辺で震度5強を観測。白馬・大町エリアを中心に落石や地割れのリスクが急増。余震による二次被害に最大級の警戒が必要。
特高	入山規制・登山道閉鎖	羅臼岳（知床側）の入山制限継続に加え、北アルプス一ノ沢林道などの通行止めが継続。地震後の安全確認が完了するまで主要ルートに不確実性あり。
高	クマ出没（全国的）	冬眠明けの活動期。札幌市近郊や高尾山周辺など、低山から奥山まで目撃多発。早朝・夕方の行動は特に遭遇リスクが高い。
高	火山情報・交通規制	草津白根山周辺の国道292号再開後も、噴火警戒レベルに伴う一部立入制限あり。桜島の断続的噴火にも注意。
中	立山黒部アルペンルート	4月15日に全線開通。地震によるダイヤ乱れは解消傾向だが、室堂周辺の積雪状況やクレバス、地震による斜面変化に注意。
中	気象（黄砂・急変）	21日以降、広範囲での濃い黄砂が予想され、視界不良による道迷いに注意。稜線での春の嵐による気温低下にも警戒。

3. 登山者へのアドバイス

- 地震直後の山行における落石・浮き石への警戒： 震度5強の揺れを経た斜面は非常に不安定です。ヘルメットの着用と、常に上方の状況を確認する意識を徹底してください。
- 「残雪」と「春の嵐」への備え： 麓は暖かいても山頂部は冬の環境です。アイゼンやピッケルの携行、防寒着の再点検を怠らないでください。
- クマ対策の徹底： 熊鈴やラジオの使用、クマ忌避スプレーの携行など、遭遇回避を最優先してください。
- 最新情報の直前確認： 地震や気象の影響で規制状況は分単位で変わります。自治体や山小屋のSNSを直前までチェックしてください。